

## 第 333 回 IEC 研究会議事録

※「国際化を考慮した社会的ネットワーキング指向の次世代 e ラーニング基盤の開発」(科研費基盤研究(B) 16H03087) との合同研究会

※ケータイ活用教育研究会との遠隔合同研究会

日時：2018 年 11 月 11 日 (日) 13:30-16:30

場所：京都情報大学院大学 百万遍キャンパス

司会：江見

書記：西本

出席：高橋，江見，西本，中西，森際，工藤，安谷，土佐，岡田，青木

欠席 (届出)：田中，河野，矢島，横山，広田

内容：

1.会務 (諸会連絡・報告，情報回覧等) および，その他

Zoom 利用による遠隔会議の試み (今回) について

IEC 会員の遠隔参加

他研究会 (今回はケータイ活用教育研究会) との遠隔合同研究会

ホストとするコンピュータが高スペックであれば，快適に会議 (音声・画面共有) が可能なことが確認できた

☆江見先生からのコメント

ZOOM 使用に関する本日の反省

1 PC を ZOOM のホストとしたときに録画ができない場合があるが，理由は不明。

2 途中で ZOOM の会議 ID を変更することになったが，そのことを遠隔地に通知する手段が定められていなかった。

IEC 例会 今後の予定

#334 12 月 2 日 匠工房

#335 1 月 13 日 匠工房

#336 2 月 10 日 光華女子大学で森際先生に会場確保をお願いしている

#337 3 月 10 日 東大阪大学 (10 時～定例幹事会を予定)

#338 4 月 14 日 会場未定

2018 年度 IEC 忘年会

例年 12 月第 1 日曜日の例会後に忘年会であったが，今年度は忘年会場の都合等で，12 月 1 日 (土曜) の定例会前日におこなうことが提案された

→出席者間では忘年会を岡田さんのお世話で12月2日に西九条付近で行うことに合意が得られた（会費は4千円程度を予定）

11月24日情報教育合同研究会（IEC会員の）参加について

沖縄記念フォーラム

高橋先生から参加申し込み状況（懇親会も）について報告があった

26名（うち子ども4名）+地元の大学生参加希望1名

懇親会会場28名で予約

12月26日当日朝の、那覇空港タクシー相乗り移動の把握（未連絡の会員はご一報を）  
フォーラムでの発表（資料発表）希望する場合、11月30日（金）までに申し込み

## 2.研究発表等

科研費基盤研究(B)（16H03087）との合同研究会枠・前半：

「天文分野における科学コミュニケーションの現状～世界科学コミュニケーション会議2018の報告～」青木先生（京都情報大学院大学）

研究者と公衆との科学コミュニケーションの重要性

科学コミュニケーター養成講座

科学コミュニケーター資格認定制度例：「星のソムリエ（星空案内人）」

科学コミュニケーションの歴史 源流は日本での1954年の発明の日（4月18日）制定にさかのぼる？

CAP（Communicating Astronomy with the Public） 2018年は福岡市科学館で開催

天文分野の科学コミュニケーションに関する招待講演、口頭・ポスター発表についての報告  
青木先生も発表

14:38～15:27

三島の「ケータイ活用教育研究会」との遠隔合同研究会枠：

「C-Learningの活用による授業改善」高橋先生（帝塚山学院大学）・情報倫理グループ

帝塚山学院大学 C-Learning の導入と活用

「産業界のニーズに対応した授業改善・充実体制設備整備授業」で導入（H24～H26）

H27年度から大学予算で本格導入・活用 全教員すべての講義を登録、出席管理、講義資料の掲載やレポートの提出などで利用、アンケート、テストなど グループ登録→グループディスカッションにも利用

高橋先生は卒業生との連絡、情報教育でも活用

他の色々なLMSに比べ”小回り”が効くので個人的には使いやすい

## C-Learning 利用と課題

主体的・対話的で深い学びの実現のための仕掛けづくりに使えるのでは  
学生の出席情報や履修情報を教員が共有することで学生指導に活用できるのでは

## C-Learning 活用による成績評価

シラバスへの記載内容 準備学習（授業時間外の学習）、テスト・レポート等へのフィードバックを行っているか、所謂 AL のようなことをやっているか、等々が必要になってきている

活用例 1 「情報倫理」（講義科目、情報メディア学科）

資料 PPT や練習問題を掲載→学生はダウンロードできる（全員 iPad 持っている）

授業内容に関するリアルタイムアンケートなど（対話的）

活用例 2 「情報機器の操作」（演習科目、食物栄養学科 1 年次）

「楽しいお菓子作り」学生作品レポート→「みんなで評価」コメントを C-Learning で共有  
実際に自分で作って写真を撮る、PPT スライド作成

グループワークやディスカッション、プレゼンは AL の手段（あるいは例）である  
AL 目的は主体的対話的で深い学びを実現

活用例 3 合同情報科教育法

C-Learning を利用して、非常勤 2~3 校における講義を開設

各大学で LMS が異なるので利用しにくい C-Learning でまとめることができる

16:14~16:30

科研費基盤研究(B) (16H03087) との合同研究会枠・後半：

「天文分野における科学コミュニケーションの現状～世界科学コミュニケーション会議  
2018 の報告～」続き

CAP2018 での発表内容 京都の歴史天文まちあるき について

京都千年天文学街道 天文学を軸にした歴史ツアーコースの開発・整備

発表を終えて

情報交換と交流

「京都千年天文学街道」のような歴史と絡めたツアーは世界に例がない（らしい）

16 時半に例会終了後は、叡山電鉄利用の「もみじツアー」へ

以上